

TaKeFu SSH NEWS



福井県立武生高等学校
SSH 研究推進部
2024 年 7 月 22 日発行

SSH NEWS No.05

05 2 年探究文科・探究理科中間発表会

7月16日(火)5・6限目に「人文社会探究Ⅰ」「自然科学探究Ⅰ」の課題研究中間発表会が開催されました。探究理科12グループ・探究文科9グループが、5月に設定した「問い」に対する研究のプロセスをスライドにまとめ、口頭発表しました。外部講師として、福井大学の米沢先生、浅原先生、遠藤先生、東京都立大学客員教授の鳩貝先生、富山大学の林先生、仁愛大学の西出先生、高野先生、シンフォニアテクノロジー代表取締役会長の武藤先生をお招きし、生徒の発表に対するご助言をいただきました。問いと検証方法の矛盾点に外部講師の方々から鋭い指摘を受けたり、独創的な視点や科学的な手法で研究を進めようとしている点について高く評価していただいたり、大変貴重なアドバイスを得る機会となりました。発表後の質問会でも、生徒たちが時間の限り講師の先生方とディスカッションし、高い興味を持って自分たちのテーマを探究している姿が見られました。



探究理科：殿上山断層帯についての継続研究



探究理科：大豆の抗菌効果についての研究



探究文科：小学生の英語教育についての研究

【講師の方々のご感想・ご助言】

- ・自分たちで実験方法を考えたり、独自の測定器具を作ったり、一人でできないことを協働してできているのが素晴らしいし、探究を楽しめていると感じた。
- ・まっすぐな視線で、自分たちの研究についてディスカッションしている姿勢が印象的だった。
- ・先行研究をしっかりと理解した上で、自分たちの研究との区別を明確にしながら検証できていることが大切。
- ・大きな問いの中から、自分たちの一番関心のある部分にスポットライトを当て、研究の題材としていってほしい。テーマを見たときに、何を目的として探究しているのか分かったとよい。